

2002年5月16日

いすゞ、タイでピックアップ・トラックをフルモデルチェンジ

—GM と共同開発の次世代世界戦略車—

いすゞ自動車（株）は本日、タイにおいて1トンピックアップ・トラックをフルモデルチェンジし、新たに「いすゞD-MAX」の名称で5月下旬より販売を開始することを発表した。

「いすゞD-MAX」は、次世代のピックアップ・トラックとして、ゼネラルモーターズ社（以下GM）と共同開発を進めて来たもので、今後GMと共にグローバル展開を図っていく、世界戦略車と位置づけられている。

いすゞとGMは1997年に次世代1トンクラスピックアップ・トラックを共同開発することで合意し、以来、両社の持つ開発リソースを最大活用して、21世紀のピックアップ・トラックの世界基準となる車両の開発を進めて来た。「いすゞD-MAX」は、その商品化の第一弾として、世界基準の高度な基本性能に、タイ独自の仕様を融合させた。既に定評ある経済性と耐久性は、より一層の向上が図られると共に、エレガントなスタイリングと、快適性の高いインテリアを実現した。さらに、パワフルかつ環境対応に優れた新型直接燃料噴射式ディーゼルエンジンを採用し、市場競争力を一層高めた。販売台数は、今回発売開始以降、2002年内にタイ国内で5万台を計画している。

いすゞは1974年、タイにおいてピックアップ・トラックの現地生産を開始し、市場ニーズを常に先取りした高い商品力と戦略的販売施策により、累計販売台数は96万台にのぼっている。市場シェアも1996年以来6年連続でNo.1を獲得するなど、ベストセラーの地位を確立してきた。

そうした実績を背景に、いすゞはタイをピックアップ・トラックビジネスの中核と位置づけ、日本での輸出向けピックアップ・トラックの生産を2003年より順次、タイに移管集約することを決定している。

生産はタイ国内とオーストラリア向け車両を泰国いすゞ自動車（IMCT）で行い、その他輸出向け車両はGMタイランドに生産委託する。2005年には、IMCTで11万台、GMタイランド5万台の生産を計画している。

「D-MAX」の発売を皮切りに、いすゞとGMは、両社の生産設備や、GMグループの流通、販売網の活用を図りながら、次世代ピックアップ・トラックを順次世界市場に投入し、グループ全体で年間50万台を超える販売を計画している。

以上



《新型ピックアップ・トラック「いすゞD-MAX」の特徴》

1. 名称の由来 : Dは、ディーゼル (Diesel) ・直噴 (Direct Injection) ・デザイン (Design) ・耐久性 (Durability) ・ドラゴン (Dragon=現行車のイメージキャラクター) から引用。MAXは、デザイン・サイズ・快適性・テクノロジー・パフォーマンス・安全性・耐久性・ラインアップの最大、最極化を表現する。
2. 開発の狙い : 感性への訴求と人間工学を両立したエレガントデザイン。革新的テクノロジーと細部にわたる高品質。タフな信頼性。
3. 車型構成 : ラグジュアリー・グレードの「スペースキャブ」。オフロード性能を追求した4WDグレードの「ロデオ」。スタンダード・グレードの「スパーク」の3タイプ。
4. エンジン : 3リッター及び2.5リッター新型直噴ディーゼルエンジン。

(参考)

生産会社《泰国いすゞ自動車 (IMCT) 概要》

社名 : 泰国いすゞ自動車 (Isuzu Motors Co., (Thailand) Ltd.)

所在地 : タイサムットプラカン県

設立 : 1966年

資本金 : 15億バーツ

事業内容 : 大型・小型商用車・ピックアップの生産

生産実績 : 2000年 72,180台 (内ピックアップ 68,349台)
 : 2001年 74,289台 (内ピックアップ 70,988台)

生産能力 : 155,000台

販売会社《トリペッチいすゞセールス (TIS) 概要》

社名 : トリペッチいすゞセールス (Tri Petch Isuzu Sales Co., Ltd.)

所在地 : タイバンコク市

設立 : 1974年

資本金 : 83億5千万バーツ

事業内容 : 商用車・RVの輸入、販売

販売実績 : 2000年 57,628台 (内ピックアップ 53,846台)
 : 2001年 69,643台 (内ピックアップ 65,892台)

以上